

会派市民

谷川 芳一・桜井 忠

一般質問



谷川 芳一 議員



桜井 忠 議員

緊急課題

1 Jアラートに対する体制整備について

(2) 冷夏対策(苫小牧地域の農業と漁業)について

(3) 苫小牧駒澤大学の経営移管について

行政課題

2 印刷物の最低制限価格制度及びオープンカウンターの試行について

(2) 高齢者の免許返納について

(3) クロスカントリーコースの整備について

制度導入後の課題

3 予防接種について

B型肝炎ワクチンについて

日本脳炎ワクチンについて

マイナンバー制度について

一般議題

4 錦岡土木資材置き場について

(2) 市立病院駐車場の緩和対策について

決算委員会

一般会計

1 総務費 移住定住について

環境衛生費 平成28年に定期接種化されたB型肝炎及び日本脳炎のワクチンについて副反応被害の実態について

商工費 とまチョップカードを複数枚持つ違反行為の防止について

2 企業会計

霊園事業 特別会計のあり方について

水道事業 市民サービス還元について

下水道事業 汚泥処理方法について

(2) 下水処理施設の民間委託の現況について

(3) 排水設備等改造資金の制度利用改善について

市立病院事業 赤字対策について

(2) 駐車場緩和対策について

陽春

金澤 俊・宇多 春美

一般質問

金澤 俊 議員

○都市計画マスタープランの見直しについて



今回は、現在見直しが進められている都市計画マスタープランについて市の見解を問いました。新都市計画マスタープランは30年度からのもので、現段階の見直しの大きなポイントとしては、錦岡、日新町、三光町、沼ノ端の4地域の中で商業施設が集積しているエリアを生活の拠点として位置付け、人口減少に対応できる街づくりを検討している点です。すなわち、買い物をしたり病院に通院したりスポーツをする施設がある地域を生活の拠点として、公共交通機関を利用することにより、車がなくても生活の利便性を保てるまちづくりを想定しているのだと思います。また、今後の人口減にあわせて、可住地面積の縮小に取り組むことについても答弁で示されました。これからのまちづくりの根本となるプランだけに引き続き見直しのプロセスを見守っていきたいと考えています。

宇多 春美 議員

○「イクボス宣言」を企業へ!

企業で働く方の生活基盤がワーク・ライフ・バランスになるのが大事なので企業へのイクボス宣言普及を要望。平成30年1月に外部講師を招き企業向けの研修を実施検討すると答弁がありました。



○女性復職支援事業について

復職をしたい女性にとって、一定の給与保証を受け20名の参加者同士が約4か月の研修や職場実習でスキルを高め、互いに情報を共有し励ましあい復職できることは素晴らしい取り組みであり、これからは子育て中の女性に対しても支援できるように企業とのマッチングを要望しました。

○特別支援教育について

小学校での特別支援は早期からの計画的な支援が重要と考えます。その為には、幼稚園や保育園での幼少の情報共有が大切で、連携が必要です。中学校区の「学校教育力向上エリア会議」に参加される方を点とすれば、点が集まった時にどう繋げていくかが大切であり、その点を強く太い線にして子ども達のために連携することを要望しました。